平成２８年災害医療救護訓練

湯浅広川消防組合消防本部

湯浅広川消防組合消防署は１１月２６日、「稲むらの火」で知られる防災の町和歌山県広川町で実施された湯浅保健所主催の集団災害訓練に参加した。訓練に参加したのは、近隣２３機関約１５０名で、「中央構造線による直下型地震で、管内に震度７の地震が発生し、イベント会場で多数の傷病者発生」という想定で実施された。各機関との合同トリアージや救護、搬送など連携を確認することができた他、この訓練の教訓、反省を元に今後も防災の町にふさわしい取り組みを継続し、地域防災意識の向上に努めることを誓った。





